

Chapter 01

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現

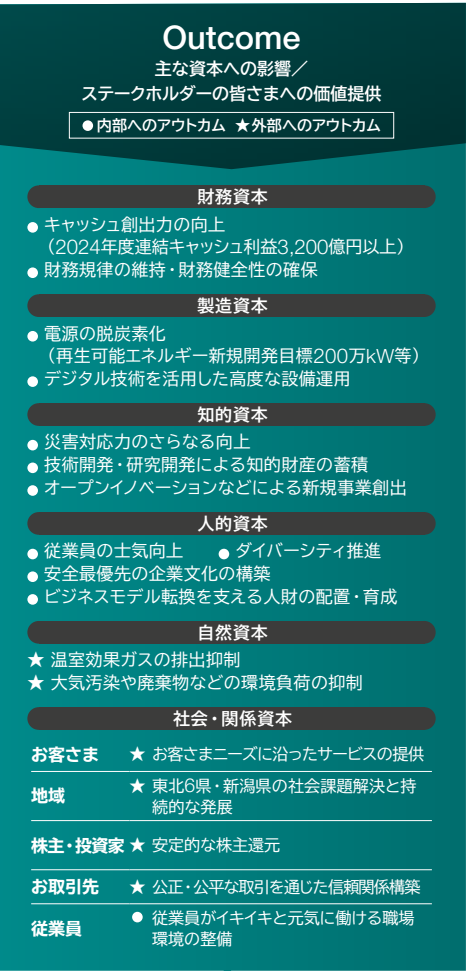
東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）



価値創造プロセス



イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現

東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

よりそうnext実現に向けて

カーボンニュートラル達成に向けて

持続的な成長を支える基盤

データセクション

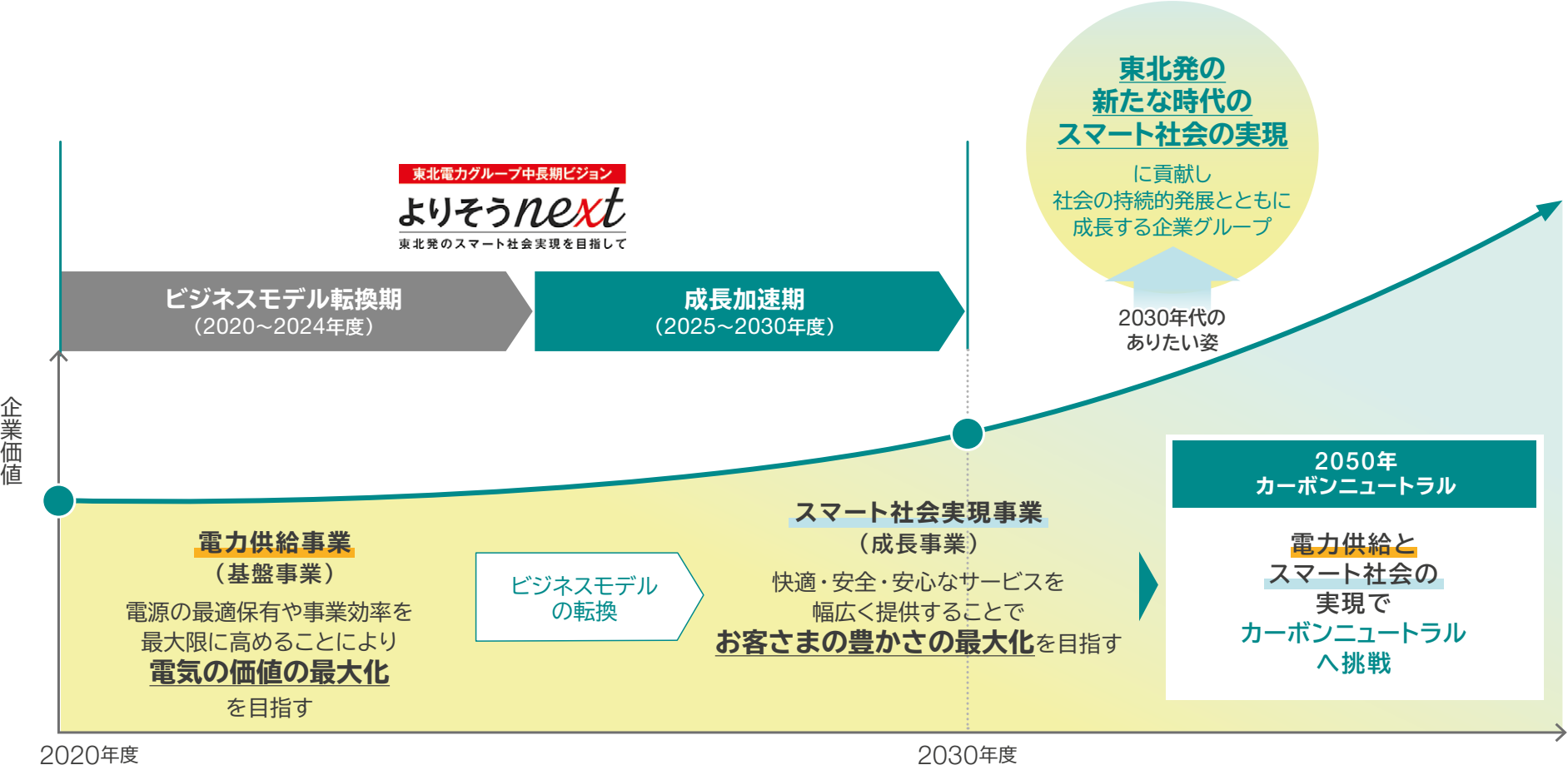
※1 2025年度まで ※2 全ての開発案件が事業化された場合

東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現

東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現

社会や電力需給構造が大きな転換点を迎える中、自らが主体的に変革を推し進め、挑戦していかなければ、経営理念「地域社会との共栄」に示す当社グループとしての存在意義を果たし、社会とともに持続的な成長を実現することは困難になるという強い危機感の下、当社グループは2020年2月に東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」を策定しました。

「よりそうnext」では、「東北発のスマート社会の実現」を2030年代のありたい姿として掲げ、この実現に向けて、電力供給事業の構造改革とスマート社会実現事業の早期収益化を進めています。また、この2つの事業を通じ、カーボンニュートラルへ挑戦することとしています。



東北電力が目指す「スマート社会の実現」とは

東北電力グループが事業基盤を置く東北6県および新潟県では、他の地域と比較して人口減少や少子高齢化が加速しており、これに起因して、今後、交通、教育、福祉など、さまざまな分野において社会課題が顕在化していくことが予想されます。当社グループでは、この中でも特に、「地域のエネルギーの有効活用」「環境への配慮」「デジタル化の進展」「安全・安心の確保」「多様な人材の活躍」「シェアリングエコノミーの実現」「交流人口の拡大」

「社会インフラの再構築」「新たな時代の交通インフラの構築」を主要な社会課題として捉えています。

スマート社会実現事業とは、次世代のデジタル技術やイノベーションの活用等を通じて、このような社会課題を解決し、地域に住む方々が、一つ一つのサービスを意識することなく、快適・安全・安心に暮らすことができるスマートな社会の実現に貢献する事業のことです。

スマート社会実現事業のイメージ —東北らしい自然豊かな地域の将来像—
「大人も子どもも安心できる快適でゆとりのある暮らし」



価値創造ストーリー

価値創造プロセス
東北電力グループ中長期ビジョン
「よりそうnext」の実現
東北電力グループ
“カーボンニュートラルチャレンジ
2050”
サステナビリティへの取り組み
サステナビリティ重要課題
(マテリアリティ)

よりそうnext実現に向けて

カーボンニュートラル達成に向けて

持続的な成長を支える基盤

データセクション

成長分野への投資、今後の事業展開

当社グループでは、「よりそうnext」の実現に向け、送配電網の系統増強等を含む再生可能エネルギー事業と、スマート社会実現事業を中長期的な成長分野と位置付け、今後、2030年ごろまでに4,000億円程度を投資し、それぞれの事業を拡大するとともに、早期収益化に取り組んでいくこととしています。

成長投資

成長事業

	2030年までの投資規模	主な取り組み	効果・リターン(目標)
再生可能エネルギー 電源の開発	1,000億円を 超える規模	<ul style="list-style-type: none">再生可能エネルギー事業推進体制の強化自社開発の強化や開発エリア拡大等を通じた200万kW新規開発の加速水力・地熱の経年設備の抜本改修等によるkWhの維持・拡大東北電力リニューアブルエナジー・サービスを通じたO&Mビジネス※2の展開	(2030年度) ■ 連結キャッシュ利益 200億円程度
再生可能エネルギー ネットワーク投資※1	2,000億円 程度	<ul style="list-style-type: none">送電網の容量拡大(連系線・基幹系統の増強)既存系統の有効活用(N-1電制、混雑処理など)調整力の確保・調整手法等の高度化(発電予測精度向上、需給調整市場対応)配電網への次世代機器・スマートメーターの導入再エネ・蓄電池・EMSなどによる最適な需給制御	■ 脱炭素化 ■ 持続的な安定供給 ■ 送配電網の最適化
スマート社会 実現事業	1,000億円 程度	<ul style="list-style-type: none">「東北電力フロンティア」:「でんき」と「サービス」のパッケージプランおよび暮らしを彩るさまざまなサービスを提供「東北電力ソーラーeチャージ」:太陽光と蓄電池を組み合わせたサービスの提供VPP事業:再エネアグリゲーション事業等のサービス展開地域プロジェクト・スマートシティ構想すまい安心サポート・サステナブル農業など	(2030年度) ■ 売上高 1,000億円程度※3 ■ 連結キャッシュ利益 200億円程度※3

※1 新託送料金制度の第一規制期間（2023年～2027年）における投資額。 ※2 運用・保守（Operation & Maintenance）。 ※3 電気販売を除く。

価値創造ストーリー

価値創造プロセス
東北電力グループ中長期ビジョン
「よりそうnext」の実現
東北電力グループ
“カーボンニュートラルチャレンジ
2050”
サステナビリティへの取り組み
サステナビリティ重要課題
（マテリアリティ）

よりそうnext実現に向けて

カーボンニュートラル達成に向けて

持続的な成長を支える基盤

データセクション

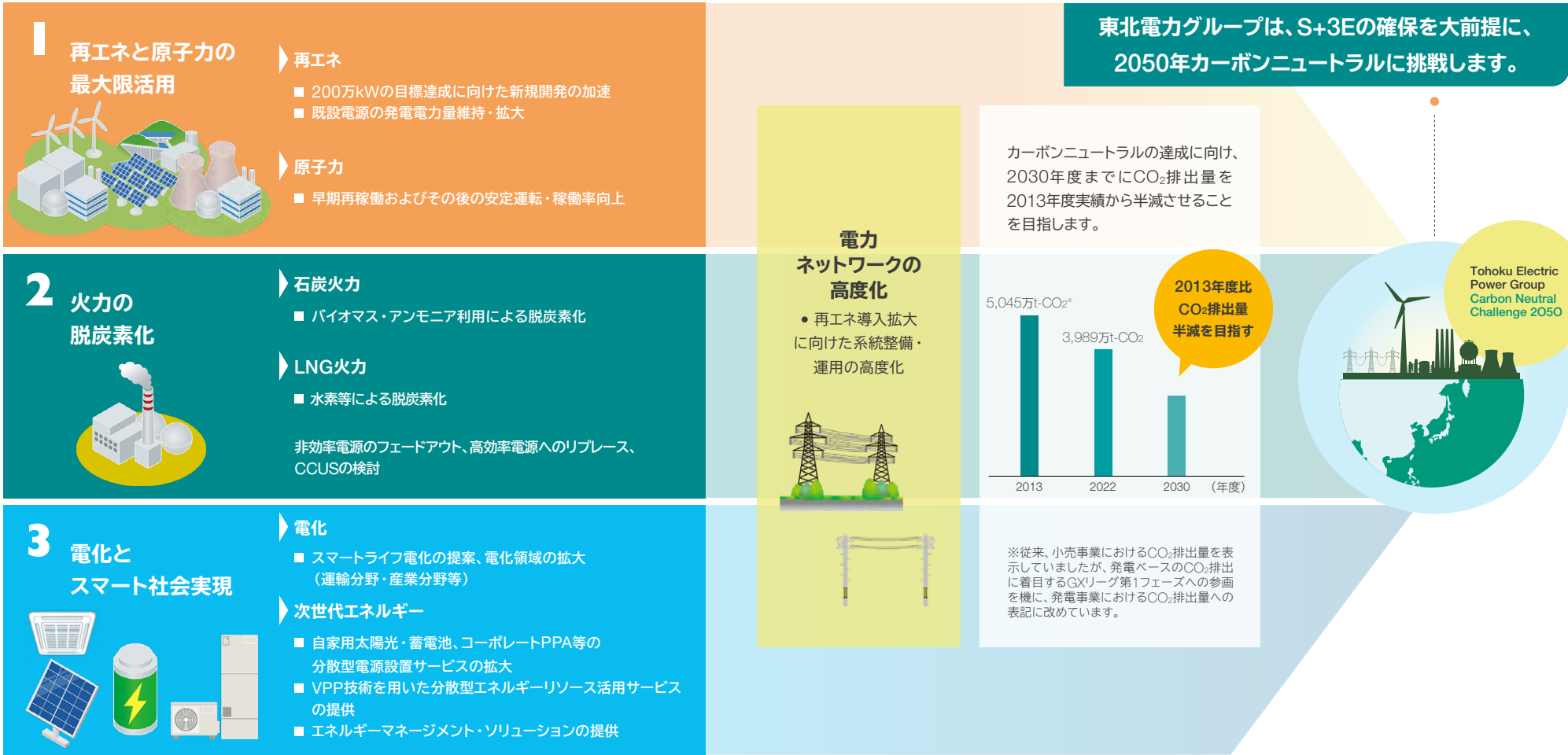
東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”

カーボンニュートラルチャレンジ2050

東北電力グループでは、2021年3月に、2050年カーボンニュートラル達成に向けた道筋を示す「東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」を取りまとめました。「再生可能エネルギーと原子力の最大限活用」「火力電源の脱炭素化」「電化とスマート社会実現」の3つの柱を中心にCO₂排出削減を行い、カーボンニュートラル社会の実現を目指しています。

2050年カーボンニュートラルに向けた中間目標として2030年度までにCO₂排出量を2013年度実績から半減させることとしており、3つの柱に沿った具体的取り組みを進めています。

カーボンニュートラル達成に向けたロードマップ ▶ P56



サステナビリティへの取り組み

東北電力グループは、「東北電力グループサステナビリティ方針」の下、サステナビリティを経営の中核に据え、中長期的な企業価値向上と社会全体の持続的な発展に貢献するために、優先的に取り組むべき課題である「サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）」を特定しました。

当社グループは、マテリアリティの解決に取り組み、東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現や「カーボンニュートラルチャレンジ2050」への挑戦を通じて、未来世代にわたるステークホルダーとともに社会価値と企業価値を共創し、SDGsの達成にも貢献していきます。

東北電力グループサステナビリティ方針

私たち東北電力グループは、東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現や「カーボンニュートラルチャレンジ2050」への挑戦を通じて、積極的にサステナビリティを推進してまいります。

東北電力グループの考えるサステナビリティは、経営理念である「地域社会との共栄」とグループスローガン「より、そう、ちから。」に基づき、企業グループが一体となって、お客さまと地域によりそい、エネルギーを中心としたサービスの提供等を

通じてスマート社会の実現に取り組むことで、地域や社会が直面する課題を解決し、中長期的な企業価値向上と社会全体の持続的な発展に貢献することです。

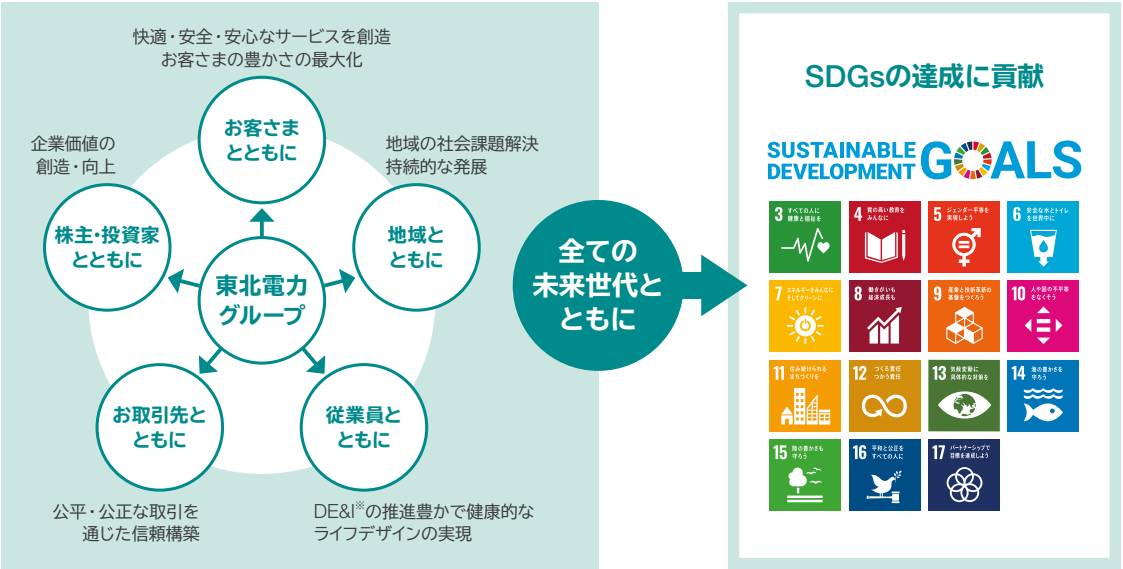
これを実現するため、東北電力グループは、「東北電力グループ行動指針」の下、事業活動のバリューチェーンを強力に支えるグループ各社の長をを活かしながら、一丸となった取り組みで総合力を発揮し、誠実で公正な事業活動を行うとともに、大切なステークホルダーの皆さまのご期待に応え、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

サステナビリティ重要課題

- カーボンニュートラルへの挑戦
- 循環型社会の形成
- 生物多様性の保全
- 快適・安全・安心な暮らしと地域社会の実現
- レジリエントな社会インフラの構築
- 多様な人財がイキイキと働く職場作り
- 様々なステークホルダーの人権尊重
- 健全で透明性のある企業経営



ステークホルダーと共創する価値



※DE&I=ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

価値創造プロセス
東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現
東北電力グループ「カーボンニュートラルチャレンジ2050」
サステナビリティへの取り組み
サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

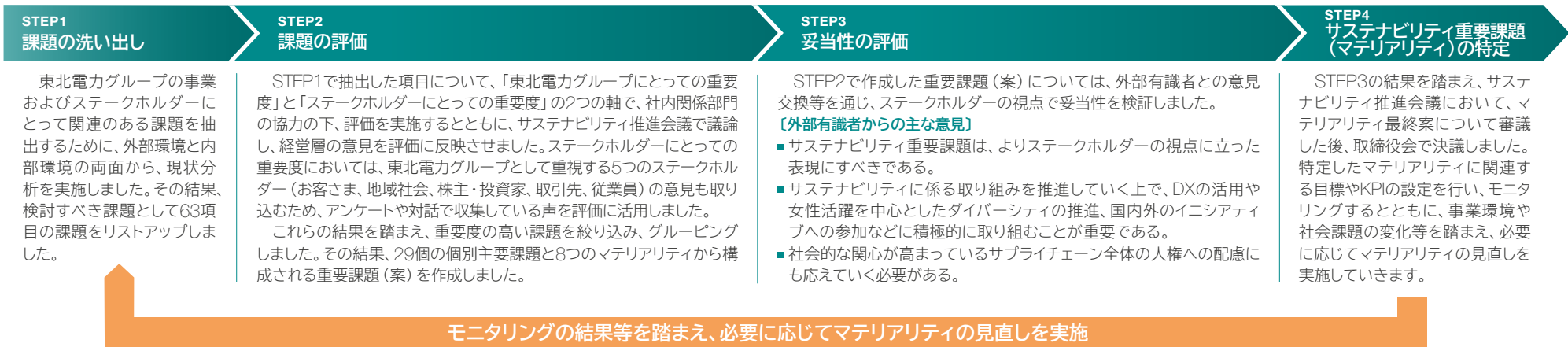
サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の特定プロセス

東北電力グループは、社会の持続可能性（サステナビリティ）に関わるさまざまな課題を、リスクとしてのみならず、社会と当社グループが持続的な成長を図る機会として捉え、東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現や「東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」への挑戦に取り組んでいます。

「よりそうnext」の実現を通じたサステナビリティの推進のためには、優先的に取り組むべき具体的な課題（サステナビリティ重要課題）を明確化することが重要であるとの考えから、サステナビリティ推進会議での論議を踏まえ、外部有識者からの助言も参考とし、当社グループが取り組むべき8つのサステナビリティ重要課題を以下のプロセスで特定しました。今後、サステナビリティ推進会議と取締役会を通じて、サステナビリティ重要課題をモニタリングし、「よりそうnext」の実現に向けて経営のかじ取りをしていきます。

なお、モニタリングについては、サステナビリティ担当役員の諮問機関である「サステナビリティ・アドバイザリーボード」による提言やステークホルダーとの対話結果等も踏まえ、適切に実施していきます。



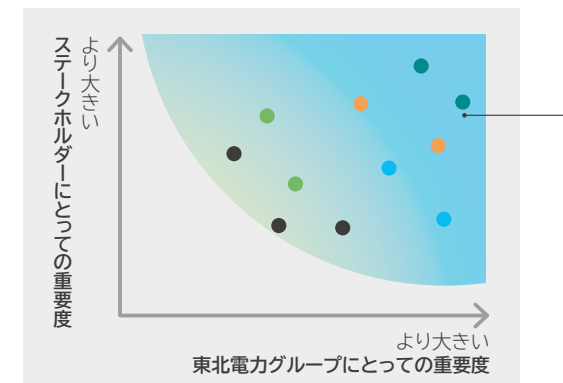
参照したガイドライン・フレームワークなど

- 外部環境

 - SDGs、GRIスタンダード、SASB、ISO26000等の国際フレームワーク
 - ESG評価機関の評価項目
 - 政府が掲げるグリーン成長戦略
 - 東北・新潟の社会・地域課題
 - 業界全体の課題
- 内部環境

 - 東北電力グループ経営理念、各種方針、中長期ビジョン、中期計画

2軸による評価とグルーピングのイメージ



サステナビリティ重要課題の特定／SDGsとの関連性

区分	サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）	SDGsとの関連性
E	カーボンニュートラルへの挑戦	13 Climate Action, 7 Affordable and Clean Energy, 11 Sustainable Cities and Communities
	循環型社会の形成	12 Responsible Consumption and Production, 11 Sustainable Cities and Communities, 13 Climate Action
	生物多様性の保全	14 Life Below Water, 15 Life on Land, 13 Climate Action
S	快適・安全・安心な暮らしと地域社会の実現	3 Good Health and Well-being, 11 Sustainable Cities and Communities, 13 Climate Action, 16 Peace, Justice and Strong Institutions, 8 Decent Work and Economic Growth
	レジリエントな社会インフラの構築	9 Industry, Innovation and Infrastructure, 11 Sustainable Cities and Communities, 13 Climate Action, 16 Peace, Justice and Strong Institutions
	多様な人財がいきいきと働く職場作り	5 Gender Equality, 8 Decent Work and Economic Growth, 10 Reduced Inequalities, 13 Climate Action
G	様々なステークホルダーの人権尊重	8 Decent Work and Economic Growth, 10 Reduced Inequalities, 16 Peace, Justice and Strong Institutions
	健全で透明性のある企業経営	17 Partnerships for the Goals, 12 Responsible Consumption and Production

価値創造プロセス
東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現
東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”
サステナビリティへの取り組み
サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

マテリアリティに係わるリスクと機会

	マテリアリティ	関連するSDGs	取り組まないことによる主なリスク	取り組むことにより期待する主な機会
E	カーボンニュートラルへの挑戦	  	<ul style="list-style-type: none">■ 規制強化時のコスト負担増大、社会的信用の失墜■ 分散型電源の市場シェア拡大に対応できず、当社従来型電源の市場価格が低下■ 火力電源へのダイベストメント加速や資金調達コストの増加、株価の下落■ 気象災害の激甚化により、設備被害や電源の停止が発生■ 降水パターンの変化により、水力発電量が減少	<ul style="list-style-type: none">■ EV等も含めた電化率の向上による電力需要の拡大■ 火力発電の稼働抑制による燃料費の低減■ 地域経済への貢献（雇用等）■ 新たな事業機会創出
	循環型社会の形成	 	<ul style="list-style-type: none">■ 廃棄物処理コストの増加■ 生態系への悪影響、希少動植物の絶滅によるレピュテーションリスク■ ESG評価の下落による資金調達コストの増加、ダイベストメント	<ul style="list-style-type: none">■ 水資源の有効活用による水力発電所の発電効率向上■ 廃棄物の有効活用、発生量抑制による費用削減■ ステークホルダーからの信頼獲得
	生物多様性の保全	 		
S	快適・安全・安心な暮らしと地域社会の実現	    	<ul style="list-style-type: none">■ 人口減少・産業衰退による収益基盤の毀損■ 変化する社会ニーズに対応できず、ビジネスチャンスを喪失■ お客さま満足度低下による需要離脱	<ul style="list-style-type: none">■ サービスの開発・展開による収益増およびお客さまの満足度向上■ 地域の活性化・産業振興による人口増加（マーケットの拡大）■ お客さまのニーズ発掘による新たな事業機会の獲得
	レジリエントな社会インフラの構築	   	<ul style="list-style-type: none">■ 大規模災害時の停電長期化による社会的信用の失墜■ 変化する社会のニーズに対応できず、ビジネスチャンスを喪失■ 街の魅力や公共サービスレベルの低下、人口減少の加速	<ul style="list-style-type: none">■ 早期停電復旧による社会的な信頼維持・強化■ 地域の魅力増による東北・新潟の人口流出阻止（マーケットの維持）■ ステークホルダーからの信頼獲得による顧客基盤の維持・拡大
	多様な人財がイキイキと働く職場作り	   	<ul style="list-style-type: none">■ 人財獲得の困難化■ 離職の増加、働きがい（生産性）低下、業務品質の低下■ お客さまニーズへの対応力低下によるビジネスチャンスの逸失	<ul style="list-style-type: none">■ 人財の獲得、離職防止■ 多様化するお客さまニーズへの対応力強化■ 業務品質の向上、競争力強化による収益増
	様々なステークホルダーの人権尊重	   	<ul style="list-style-type: none">■ 死亡・重大労働災害の発生■ 訴訟リスクとレピュテーション悪化■ ステークホルダーからの信頼低下・ブランド毀損による需要離脱増加	<ul style="list-style-type: none">■ 労働安全の確保による従業員の人権配慮■ 人財の獲得、離職防止■ ステークホルダーからの信頼獲得による顧客基盤の維持・拡大
	健全で透明性のある企業経営	 	<ul style="list-style-type: none">■ ステークホルダーからの信頼低下・ブランド毀損による需要離脱増加■ 株価低下、資金調達困難化、ダイベストメント■ ソフトローの潮流を把握できず、対策が後手に回ることによる競争力低下	<ul style="list-style-type: none">■ ステークホルダーからの信頼獲得による顧客基盤の維持・拡大■ ESG評価向上による有利な資金調達■ 株価上昇

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス
東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現
東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”
サステナビリティへの取り組み
サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

よりそうnext実現に向けて

カーボンニュートラル達成に向けて

持続的な成長を支える基盤

データセクション

マテリアリティの目標・指標

	マテリアリティ	個別主要課題	主な目標／指標	目標年度／範囲※1	2022年度実績	関連ページ
E	カーボンニュートラルへの挑戦	<div>■ 安全を最優先とした原子力発電所の早期再稼働と安定運用</div> <div>■ 再生可能エネルギーの導入拡大</div> <div>■ 火力電源の脱炭素化への移行</div> <div>■ お客さまによりそう省エネ提案・電化推進</div> <div>■ 脱炭素技術の開発・イノベーション促進</div>	カーボンニュートラルの実現を目指す	2050／G	<div>■ CO₂排出量：3,989万t-CO₂（2013年度実績比△20.9%）</div>	P20 P55
			CO ₂ 排出量について2013年度実績（5,045万t-CO ₂ ※2）から半減を目指す	2030／G		
	循環型社会の形成	■ 廃棄物の発生抑制と資源の有効利用	産業廃棄物全体の再資源化率90%以上	毎年／TD・TN	■ 87.6%	P67
			プラスチック使用量の少ない製品または代替製品の可能な範囲での選択	毎年／TD・TN	■ 廃プラスチック類排出量：1,006t	
			廃プラスチック類再資源化率維持・向上		■ 廃プラスチック類再資源化率：84.2%	
	生物多様性の保全	■ 地域環境の保全	事業活動に伴う生物多様性への影響を回避・最小化	毎年／TD・TN	<div>■ 東通原子力発電所構内の湿原調査・維持管理を実施、湿原環境が保たれていることを確認。</div> <div>■ 新仙台火力発電所リプレイス計画に係る動植物・生態系について、事後調査結果が保全目標どおりであることを確認し、仙台市環境影響評価審議会に報告。</div> <div>■ 設備形成時に希少動植物に係る情報収集を行い、必要な保全対策の内容を決定・実施。</div>	P68
S	快適・安全・安心な暮らしと地域社会の実現	<div>■ デジタル技術を活用した地域課題解決に資するスマート社会実現事業の推進</div> <div>■ お客さま満足度の追求</div> <div>■ 東北・新潟の活力ある地域コミュニティの共創</div>	社会課題解決等に資する付加価値の高いサービスの提供／事業・サービス件数	2030／G	■ 43件（累積リリース件数）	P44
			新たな価値の提供でお客さま満足度向上に資する自由料金プラン比率66.0%	2025／G	■ 自由化料金プラン比率（kWh比）：48.4%	
			「よりそう東北コネクト」加入者数1,500人	2024／トークネット	■ 1,087人	
	レジリエントな社会インフラの構築	<div>■ 安定したエネルギーの供給</div> <div>■ 大規模災害への迅速な対応</div> <div>■ 保有技術を活かした社会インフラ高度化への貢献</div>	電力品質の維持／お客さま1戸あたりの平均停電回数・時間	毎年／TN	■ 0.11回・24分	P41 P75
			高経年化設備の計画的な改修による安定供給の維持	2027／TN	■ 鉄塔 591基/5年	
			■ 電柱 95,660本/5年		■ 架空電線 11,197km/5年	
			■ 架空電線 11,197km/5年		■ 地中ケーブル 428km/5年	
			大規模災害への対応力強化（年1回以上の非常災害対策訓練の実施）	毎年／TD・TN	■ 全店大の訓練を実施	

※1 TD：東北電力、TN：東北電力ネットワーク、G：グループ全体。 ※2 従来、販売電力におけるCO₂排出量を表示していましたが、発電ベースのCO₂排出に着目するGXリーグ第1フェーズへの参画を機に、発電電力におけるCO₂排出量への表記に改めています。

価値創造ストーリー

価値創造プロセス
東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現
東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”
サステナビリティへの取り組み
サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

よりそうnext実現に向けて

カーボンニュートラル達成に向けて

持続的な成長を支える基盤

データセクション

	マテリアリティ	個別主要課題	主な目標／指標	目標年度／範囲※1	2022年度実績	関連ページ
S	多様な人材が イキイキと働く 職場作り	■ ビジネスモデルの転換を支える人的資本の強化 ■ デジタル技術の活用などを通じた働き方改革の実践 ■ ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進 ■ 健康経営の推進	DXリテラシー人材を2,000名育成	2025／TD・TN	■ (2023年度から取り組みを開始)	P69 サステナビリティ レポート P46 P55
			普通休暇平均取得率を8割以上（時間休暇含む）	2024／TD・TN	■ TD:77.1%、TN:83.0%	
			女性管理職数を2019年度期首比2.0倍以上	2024／TD・TN	■ TD:1.48倍、TN:1.11倍	
			管理職に占める女性の割合（女性管理職比率）を5.0%	2035／TD・TN	■ 2.46%	
			障がい者法定雇用率の遵守	毎年／TD・TN・TFP	■ 2.48%	
			喫煙率を20%以下に低減	2024／TD・TN	■ 20.9%	
			死亡労働災害発生件数ゼロ（請負・委託業務等を含む）	毎年／G	■ 2件	
G	様々なステーク ホルダーの人権尊重	■ 労働安全の確保 ■ 差別・ハラスメントの防止 ■ 公衆保安・消費者安全の確保	ハラスメント相談案件への的確な対応／ 窓口への相談件数	毎年／TD・TN	■ 25件	サステナビリティ レポート P40 P43 P53
			公衆感電事故発生件数ゼロ （設備不備に伴い発生したもの）	毎年／TD・TN	■ 0件	
	健全で透明性のある 企業経営	■ 健全な収益・財務基盤の確保 ■ 企業倫理・法令遵守の徹底 ■ リスクの管理・対応 ■ 情報セキュリティの確保 ■ 知的財産の保護・活用 ■ サプライチェーンのリスク管理 ■ ステークホルダーとの双方向コミュニケーションの拡大 ■ パートナリシップの強化 ■ 実効性のあるガバナンス体制の構築	連結キャッシュ利益3,200億円以上	2024／G	■ 1,366億円	P27
			企業倫理・法令遵守の徹底／重大なコンプライアンス違反件数、内部通報窓口対応件数	毎年／G	■ 重大なコンプライアンス違反件数：2件 ■ 内部通報窓口対応件数：148件	P13 サステナビリティ レポート P73
			統合リスク管理方針に基づき選定した重要リスクの適切な管理・対応／リスク量を連結自己資本額の範囲内にコントロール	毎年／G	■ コントロールされている （リスク量÷連結自己資本額が1未満）	P77
			情報セキュリティマネジメントの維持・推進／ 情報セキュリティ対策状況の確認個所数	毎年／G	■ 確認個所数（うち訪問対話個所数）： 206個所（38個所）	サステナビリティ レポート P72
			グループ行動指針に掲げる「知的財産権の保護」の遵守／特許保有件数	毎年／TD・TN	■ 特許：293件 ■ 意匠：12件	■ 実用新案：4件 ■ 商標：102件 P54
			主要取引先へのアンケート調査実施率100%	毎年／TD・TN	■ (2023年度から取り組みを開始)	サステナビリティ レポート P41
			ステークホルダーとの積極的なコミュニケーション活動／社会貢献活動実施件数	毎年／G	■ 922件	P76
			株主・投資家との対話（ESG含む）の充実／ 対話実施回数	毎年／TD	■ 24回	P91
			取締役会の実効性向上（取締役会の実効性評価の実施および評価結果に基づく継続的な改善）	毎年／TD	■ 2016年度より実効性評価アンケートを継続実施し、 検証結果を取締役会へ報告のうえ、 次年度向けに改善措置等を講じている。	P84

※1 TD：東北電力、TN：東北電力ネットワーク、TFP：東北電力フ렌ドリーパートナーズ、G：グループ全体。

価値創造ストーリー

価値創造プロセス
東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうnext」の実現
東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”
サステナビリティへの取り組み
サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

よりそうnext実現に向けて

カーボンニュートラル達成に向けて

持続的な成長を支える基盤

データセクション